

まこと通信

社会民主党
田川市議会議員

vol.
10号



社民党

佐々木まこと後援会ニュース

佐々木まこと後援会事務所 〒826-0044 田川市大字位登876
TEL:0947-42-1866 mail:makt56@hotmail.com



比例区・社民党 選挙区・山口はるな ともに政権交代を！



山口はるなとともに社民党への支援をお願いする佐々木まこと

いよいよ政権選択の夏がやってきました。政権交代が果たせるかどうかは、皆様のご判断にかかっています。

しかし政権交代は目的ではなく手段です。民主党だけではなく社民党がしっかり生活者のための政策実現を協議し、ときにチェックをしながら政権の「品質保証」を担ってまいります。

社民党はこれまで戦後日本を支えたお年寄りや、中小零細企

業で働く人たち、セーフティネットの外にある若者など、自民党公明党政権が切り捨ててきた人たちが、再びがんばろうと思える社会を新しい政権でつくってまいります。

政権交代は我々自治体議員にも大きく関係してきます。削減され続けた地方交付税をはじめとした地方税の税源移譲、出産費用の無料化や生活保護制度の抜本的見直し、土木事業偏重の公共事業からの脱却、介護や農業など人を幸せにする仕事作りの支援など、真の福祉・生活支援が行える自治体へ変わることが可能です。

これまでも民主党・国民新党とともに、労働者派遣法改正案の共同提案、郵政民営化の見直し、子どもの貧困対策など、生活者に身近な分野で社民党は野党共闘のカナメとして取り組んできました。

少子高齢化によって福祉型社会の必然性はますます高まっています。社民党が掲げる社会民主主義社会の実現に向けて私も全力で取り組みます。

後援会長のひろひろ



「エコポイント大型家電好調」と題するコラムが先日の朝日新聞に書かれていた。テレビは、前年に比べ7割の伸び、それも大型は2.2倍になったという。冷蔵庫も大型が人気で全体の伸びは10%前後なのに大型は前年の2倍以上に伸びたという。はてなと思う。

エコは地球のCO₂の削減という大命題に対して我々が取り組まねばならぬ必須の課題のはずなのに、なぜ大型が？ 私たちは本当は地球の電気に気が付いて

比例区は社民党、選挙区は野党統一の山口はるな予定候補に、多くの皆様の声をお寄せください。

田川市議会議員

佐々木まこと

いないのではなからうか。大型を買えば「エコポイントがたくさんつく」ということで大型を！というのでは単純すぎないか。結果的に大型の消費電力の増は、ますます地球の温暖化を深刻にするだけはあるまいか。エコカーの予約もすごい勢いだ、石油消費量の問題だけで考えてはなるまい。

地球上の資源が限りあることを根底にすえ、次の世代の人々に豊かな地球をバトンタッチする責任がある。これが私たち一人一人に課せられた命題であることを忘れずに、日々の生活をしっかりと見直さなくてはならないと思うこのごろである。

後援会長

大間勝徳

6月議会 一般質問



質問1…臨時・嘱託職員の最低賃金に近い人件費は早急な処遇改善が必要ではないか。また各種研修の実施、職員との役割分担の明確化、複数年雇用をはじめとした雇用期間の延長等を実施すべきと考える。

が突出している。現状の管理職の数が適正と言えるのか、また複雑な職階制の是正について見解を求める。

答弁…給与については近隣市より低いが一時金を支給しており、そんな位と考えている。正規職員と臨時的任用職員の役割分担は整理すべき。窓口事務などについては、一定の熟練、専門性の確保等も必要となるため、臨時的任用職員の雇用期間の延長や処遇の見直し、さらには研修等による人材育成についても研究していきたい。

質問2…本市の管理職の現状は、普通会計で5人に1人が管理職という状況にある。近隣の筑豊3市を例に取ると、飯塚市は12・8％、直方市は8・2％と田川市

答弁…高い数値となっているが、係長兼務などもあるため一概に比較はできない。今後は本市の組織の職制のあり方、またそれぞれの役職ごとの役割等について検討を加え、管理職のマネジメント能力の向上を図っていきたい。

質問3…職員提案制度について平成10年以降、2件のみで、現市長就任後は一切ない。まったく提案がされていない職員提案制度の充実についてどう考えるのか。

答弁…市の重要課題におきましてワーキンググループを設置し、意見、アイデア

を積極的に市政に取り入れていくよう努めている。自主研究グループなどの活動を積極的に支援しながら、全庁的に政策提言や業務改善が促進されるよう努めたい。

質問4…職員研修について、大学等の専門機関との連携や、市民との協働を図るため地域社会に開かれた研修の実施、本市を取り巻く社会構造に対応する職員像の確立を図ることが急務である。また職員の接遇に関して、市民の厳しい目に十分に応えられる接遇となっていないのでは。

答弁…現在も様々な職員研修は行っているが、本市の人材育成をさらに活性化させるため、多様な研修に取り組んでいく必要があると認識している。例えば地元スーパールなどの研修も検討していきたい。

質問5…本市の職員数は大幅に削減された一方、地方分権の進行で事務料は格段に増加し負担も出ている。職員の年齢構成の偏在も顕著となっている中で、職員数のあり方や、定期的な職員採用、中途採用等を行うべきではないか。

答弁…平成25年度までに340人まで削減することになっている。しかし財政的な

問題から今後も少数精鋭の組織体制の構築を目指していきたい。職員採用については定員適正化計画や退職者、職員の年齢構成のバランスなどをみて考えていきたい。

佐々木は
こう思う

採用から退職まで
間断なく能力開発を

地方分権が進む一方、職員数は削減され続けています。だからこそ一人ひとりの職員の政策形成能力や接遇、職員の補助する臨時・嘱託職員のあり方はますます重要になっていきます。しかし田川市は人員削減だけが優先し、総合的な人事政策にあまりに乏しいのが現実です。

まちづくりの専門家として皆様の税金で雇われた職員なのですから、常に変化する行政需要に対応するためにも、採用から退職まで間断なく能力開発にむけた投資を様々な部署と連携して行うべきです。また親身な対応やあいさつなど職員の接遇に関して市民の評価は非常に厳しいものがあります。市民に不信感を与えるような市役所にしないためにも接遇研修を民間企業並みに充実してもらいたいと思います。

6月 補正予算

今回の補正予算は、国の経済対策による補助金を活用したものがほとんどです。しかし内容に関しては本当に必要なのか、また問題はないのか、と感じたものもありました。

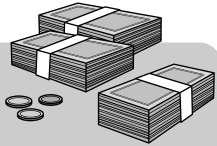
例えば星美台住宅団地の浄化槽改修については、「メンテナンスに問題があった」という点からも明らかに人為的なミスによるものです。単に予算措置だけではなく、責任の所在をはっきりさせる必

要があると訴えました。また市営住宅の浄化槽調査委託に関しても調査委託費算定の根拠があいまいな上、田川市の総合的な下水道計画とどうリンクさせるのかも未知数です。

一方公立保育園の改修や遊具の充実は長年の課題で私も議会でも何度も発言してきました。公立保育所の利点を生かし、保育環境の充実をこの予算でより一層図ってもらいたいと思います。

その他総務文教委員会では次のような議論がされました。

税務課 税金の滞納問題について



市税の滞納状況

件数：3218件
金額：9億3172万8480円

※09年2月10日現在。市税とは個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税のこと。

国民健康保険税の滞納状況

件数：1358件
金額：3億2891万3283円

※09年3月現在

1人で100万円以上滞納している方は144名で滞納合計約5億2600万円となっていることから、滞納総額における高額滞納者の割合が高いことが分かります。また総滞納額の約76％が固定資産税と突出しています。

国民健康保険税でも100万円以上の滞納者が全体の54％を占めるなど市税と同様の傾向が見られます。5年以上滞納している方も854名とかなりの数となっています。

滞納金額は上昇の一途をたどっていますし、現在の滞納額でも支払い能力がない方が多く含まれています。今後この数字の多くが不能欠損（税金帳消し）になる可能性が十分に考えられます。

もちろん「逃げ得」は決して許してはいけませんし、差押が不十分などところも多々あると思います。しかし特に国民健康保険税など市民の健康に深く関わるものについて親身で柔軟な対応が求められます。



中学校ランチサービス

弓削田中・鎮西中で開始

外部の委託業者が弁当を中学校まで届けるランチサービス方式が、6月1日から開始されました。1食350円です。しかし2校あわせて10数人しか申込者はいません。教育委員会側の周知不足や申し込み方法の煩雑さ、注文者が少数のため中学生が敬遠している、などに原因があると思います。今後は申し込みをこれまでの1ヶ月単位から1週間単位に変えたりしながら周知していく予定です。食事自体はとてもおいしいものでした。

事業内容	補正額	既定額	合計
児童遊園の老朽化した遊具を撤去し、新たに設置する費用	250万円	0万円	250万円
公立保育所3園の老朽化した遊具や機械設備を更新する費用	3250万円	0万円	3250万円
市営住宅21ヶ所の浄化槽の施設改善計画及び機能拡充計画を行うための調査委託料	3000万円	0万円	3000万円
星美台団地汚水処理施設の機能低下に伴う改修費用	3000万円	0万円	3000万円
都市計画マスタープラン策定に当たったのコンサルタント委託料	504万円	836万円	1340万円
小学校・中学校の大規模耐震改修事業実施費用	7630万円	710万円	8340万円
市営造林の間伐等の作業にかかる費用	450万円	0万円	450万円

Series

KOKORE

が問題

を変えよう

田川市立病院が大幅な赤字を計上し、厳しい経営状態となっています。問題点と執行部が行うべき方向性について私の意見を述べます。また新ごみ処理場の建設予定地が示されました。田川地区清掃施設組合は昨年より不祥事が多発しています。議員として厳しい指摘をしていきたいと思っています。

田川市立病院経営検討委員会発足

―赤字体質と医師不足に早急な対策を―



田川市立病院の概要
開設：昭和24年3月
病床数：一般病床：334床、感染症病床…8床
人工透析…50床、診療科…16科
内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科・歯科口腔外科
【休診中】眼科、精神科、猪位金診療所

この状況に対して「田川市立病院経営

形態検討委員会」が本年5月に発足、医師や大学教授、公認会計士など専門家からなる5名の委員が今後の田川市立病院の方向性について協議しています。

なぜ医師が去るのか

別表にあるように、急激な経営悪化のもっとも大きな原因は医師数の減少にあります。特に外科は現在1名しか在籍しておらず、全身麻酔による手術は難しいのが現状です。経営面だけでみると医師不足が収入面に大きく影響していますし、重大事故の際も他の総合病院に搬送せざるを得ないという状況になっています。

医師不足は大学病院との関係や新たな研修医制度の導入などが言われていますが、もっとも大きな原因は勤務医が激務ということにあります。外来を引き受け、昼から入院患者を回診し、その後夜勤をこなし、次の日の外来まで行うという「36時間労働」は田川市立病院でも行われています。その結果医師が去り、そして

ますます勤務医に負担がかかるという悪循環が発生しています。

執行部は早急な経営改善を

経営形態検討委員は公立病院から民間移譲も含めた検討を行っています。単に経営形態を変えても根本的な経営改善は進まないことは明白です。そして田川市立病院の事業管理者「CEOである市長が経営責任をまったくとっていないことにも大きな責任があります。今の体制でも十分行えることはあります。私としては

- ①医師・看護師等の給与を含めた待遇改善を抜本的に行う。
- ②収益増に対する取り組みを強化する。
- ③事務担当者に医療に精通した専門家を配置する。
- ④市民と意見交換をし、あるべき市立病院像を確立する。

などを早急に行うべきであると考えています。

公立病院は税金の免除や低利貸付など様々な優遇政策があります。だからこそ小児科・産婦人科など不採算部門であっても公的医療機関としての責務を担保する必要があります。

相次ぐ不祥事に執行部は具体的な綱紀粛正策を！

まず田川地区清掃施設組合職員が飲酒運転で検問を突破し、民家に激突し逮捕される事件が発生しました。それに対し組合長（田川市長）はその職員を停職6ヶ月とする裁定をこのたび行っています。これは極めて甘い判断だと思えますし、今後このような事件を市職員が行っても懲戒免職にならないという事例を新たにつくったことになりました。

また福智町議と田川地区清掃施設組合

職員が結託し、入札情報を業者に教えたとして逮捕されました。金銭授受を認める報道もされており、極めて悪質な犯罪です。

また昨年はダイオキシン基準外排出を1ヶ月以上隠蔽するという事件も発生しています。

これら立て続けに発生した事件について、執行部は早急な綱紀粛正策を具体的に取る必要があります。私も田川地区清掃施設組合議員として今後も積極的に発言します。



第1候補地の田川市大浦・伊加利地区

現ごみ処理施設2ヶ所の老朽化への対策として始まった新ごみ処理施設の候補予定地選定が6月に田川地区清掃施設組合から発表されました。

第1候補は田川市伊加利・大浦地区。田川地区斎場（火葬場）に隣接した場所です。（なお組合からは「川崎町岩鼻地区」と紹介されましたが、その95%以上は田川市伊加利・大浦地区の土地であるため、伊加利・大浦地区と紹介します）。第2候補は田川市船尾地区の元三井鉱山セメント跡地です。

第1候補と第2候補の大きな違いは造

将来にツケを残さないことが第一であるべき

しかし別表の通り、20年間の総経費は約250億円〜300億円以上と多額であり、田川市も

100億円を超える財政負担を強いられます。他の地域へのごみ焼却委託の検討を始め、財政負担軽減を大きな柱にして取り組んでほしいと思います。

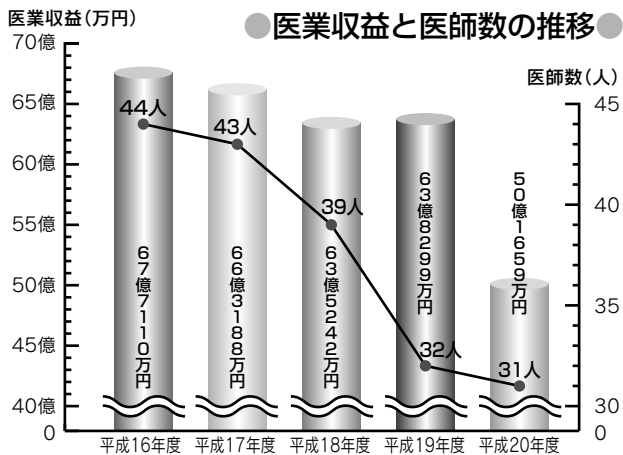


第2候補地の田川市三井鉱山セメント跡地

	非焼却方式	焼却方式	
具 体 名	①生ごみの資源化(バイオマス利活用)＋炭素化(電気化)	②生ごみの資源化(バイオマス利活用)＋ストーカー直結溶融炉(酸素式)	③生ごみの資源化(バイオマス利活用)＋ガス化溶融炉(酸素式)
建設費用 (最終処分場含む)	69億6600万円	98億1800万円	95億6500万円
20年間の総経費	241億4300万円	307億9790万円	303億202万円

	生ゴミ資源化	溶融路(酸素式)	炭素化
具体的説明	生ゴミだけを別途収集して、し尿や浄化槽汚泥とともにメタン発酵させ、液肥として田畑に還元すること。また処理の過程で発生するメタンガスを利用し発電し、施設の電気などに利用することもできる。現在福岡県大木町で稼働している。	1300度以上の高温で燃焼し、灰を溶融する方式。ダイオキシンの発生を大きく抑えることができ、また溶融された灰は建設資材などにも使うことも可能。多くの自治体で採用している。	ゴミを燃やさず、熱分によって処理する方式。そのため煙突が不要であり、ダイオキシンや有害物質の飛散はない。現在自治体での導入実績がない。
課 題	○生ゴミの分別・収集・運搬体制に経費がかかる。 ○貝殻など発酵に際しての不適物の混入防止対策が必要。 ○発酵液肥を受け入れる農家等の開拓が必要。	○メンテナンスコストが多額で、多くの自治体が多額の財政負担を強いられている。 ○1300度以上にするためには、石油系ゴミ(プラスチックなど)も投入する必要があると言われている。	○一般廃棄物に対する実績がない。 ○国の補助金対象事業になるかは未知数。

● 医業収益と医師数の推移 ●



	純損益(万円)	年間患者総数 (入院・外来)
平成16年度	△3億6,284万円	362,498人
平成17年度	△1億5,628万円	338,586人
平成18年度	△4億3,161万円	326,012人
平成19年度	△4億1,638万円	327,384人
平成20年度	△6億3,207万円	291,466人

もちろん、だからといって公立病院が赤字経営でもよい、というわけではありません。経営改善のため執行部、病院職員、医師、看護師など全員で取り組み、経営面でも大きく好転するはずです。

ま佐々木こと

の西へ東へ！

●4月25日



地元猪俣金校区の獅子舞を奉納しました。

●5月4日



鹿児島県日置市の坂口ひろゆきさん(写真右)の選挙応援。見事上位当選を果たしました。

●5月23日



社民党福岡県連合青少年局の街頭演説を行いました。

●7月11日



若手企業家の集まり「ラポール」で講師として地方自治や自分の取り組みについて語りました。

母校・龍谷大学案内誌に紹介される！

180/370

佐々木 充さん
○法学部政治学科2004年卒業
○福岡県立東郷高校出身

勤務先●福岡県田川市 市議会議員

大学時代の貴重な「時間」が、今の私を作りあげています！

地元の発展に貢献できる仕事に就きたいと思い、地方分権を積極的に研究している教員などが多い法学部政治学科を志望しました。在学中、サークルでは大学新聞の発行を通して大学自治を訴え、ゼミでは地方自治を専攻して自治体のさまざまな問題を研究しました。特に思い出に残っているのが、「地域研究発展ゼミ」。地方自治について議論と現場視察に重点を置いて研究を深めたことは、現在の議員活動にも生かされています。じっくり考え、行動する時間はいくらかあるのが大学時代。みなさんも大いに悩んで、将来の糧を形成してください！

●6月14日



熊本市で社民党青年・女性街頭キャラバンに参加しました。

やっぱり「低落札によるダンピングの危険性」はなかった！

「佐々木まことの日進月歩」より
2009.7.5

私がこれまで3回にわたって質問してきた「入札制度改革」。そのことについて6月22日の建設経済委員会、契約対策室から「新たな入札制度の実施状況について」という事務報告がされました。

まず「落札率の動向について」説明があり、その中で過去5年間の落札率の動向が

平成16年度	97.70%	(179件)
平成17年度	97.72%	(132件)
平成18年度	97.66%	(158件)
平成19年度	95.02%	(126件)
平成20年度	91.88%	(142件)

と報告され、「新たな入札制度を導入する前までは95%を超えている」と報告した上で「新たな入札制度の試行導入により落札率の低下が見られる」と報告されています。

なお新たな入札制度実施後の落札率の状況は条件付一般競争入札94.96%(6件)

公募型一般競争入札88.49%(13件)
順番制・希望制併用指名競争入札81.80%(21件)

となっており、金額の少ない入札ほど落札率に差が出ていることが確認されます。

では上記の数字に基づいて行った公共工事について、これまで執行部が答弁してきた「低落札によるダンピング」は発生したのか検証が可能です。その件について執行部は「最低制限価格の動向」の中で「最低制限価格に近い落札があった場合でも工事の品質確保が担保できることとなった」と述べています。

ようするに、これまで何度も執行部が一般質問で述べてきた「低落札によるダンピングの危険性」はなかったと示したことになります。

ということは、これまでず

ホームページ紹介

佐々木まことの日々の活動をつづるブログ、

毎日更新
佐々木まことの日進月歩

<http://sasakimakoto.net/>



「佐々木充」で検索してください。



つと行われてきた田川市の公共入札は、明らかに高落札だったという証明にもなります。それでも「適正な競争」「適正な見積もりに基づいた入札」と言えるのでしょうか。

そう思えば思うほど、もっと早く入札制度改革を行っていただければ、と悔しい気持ちでいっぱいです。

しかし入札制度改革の第2段としては

- ①指名登録業者認定の緩和
- ②地域要件の緩和

だと思っています。だれもが参加しやすい制度にしていくなためにも認定緩和はもっと進めるべきです。

そして「地域要件の緩和」については、いくら一般競争入札を行ったとしても、ある業種は応札可能業者数に関して市が示す20社に満たないところもあると思います。田川市内という限定だけをしている限り、全く競争性は発揮されないと断言できます。

田川市の入札・契約制度改革

の柱の一つに「地場産業の保護・育成に配慮した地域振興対策の確立」があります。しかしこれまで執行部が述べてきたのはもっぱら「保護」ばかりで「育成」はほとんどありません。

極端に競争性がない状況下でも市内限定入札を続けることは、一時的には潤うかもしれませんが長期的視野に立てば競争力のない企業だけが残留することにもなりかねず、それが地域振興にならないのは、誰の目にも明らかです。しかし現在の制度ではそれが温存されています。適正な競争のもと企業が育成できる環境づくりこそ、「育成」の観点から見ればとても重要です。し、長期的視野に立てば田川市の振興発展にも大きく寄与します。

そしてなによりも言えることは、入札で使われるのは皆様の大切な税金だということです。皆様からお預かりした税金を1円でも無駄にしない入札制度にしていくために、今後も議会内外で声を上げていきます。

佐々木まことの主な活動報告

4月

15日より

15日 田川商工会議所青年部総会
16日 社民党田川総支部合同会議
17日 社民党福岡県連合常任幹事会(福岡市)
18日 地元地区「獅子ならし」
19日 地元地区「獅子ならし」
20日 地元地区「獅子ならし」
21日 地元地区「獅子ならし」
22日 「まこと通信」配布作業
23日 地元地区「獅子ならし」
24日 「まこと通信」配布作業
25日 地元地区「獅子ならし」
26日 地元地区「獅子ならし」
27日 地元地区「獅子ならし」
28日 地元地区「獅子ならし」
29日 地元地区「獅子ならし」
30日 地元地区「獅子ならし」

5月

1日 社民党福岡県連合常任幹事会(福岡市)
2日 「まこと通信」配布作業
3日 坂口ひろゆき日置市議選応援(鹿児島県)
4日 坂口ひろゆき日置市議選応援(鹿児島県)
5日 坂口ひろゆき日置市議選応援(鹿児島県)
6日 「まこと通信」配布作業
7日 「まこと通信」配布作業
8日 社民党福岡県連合常任幹事会(福岡市)
9日 連合福岡との会合
10日 村上まさあき日置市議選応援(兵庫県)
11日 市議会臨時議会
12日 市議会臨時議会
13日 市議会臨時議会
14日 田川商工会議所青年部
15日 社民党田川支部会議
16日 山口はるな選対会議
17日 社民党「党学校」(福岡市)
18日 伊田神幸祭
19日 田川市育英資金委員会
20日 社民党田川支部会議

6月

22日 社民党福岡県連合常任幹事会(福岡市)
23日 社民党福岡県連合青年女性キャラバン(福岡市)
24日 後藤寺神幸祭
25日 福岡県退職教職員協議会総会
26日 総務文教委員会
27日 暴力団追放地域決起会議
28日 山口はるな政策発表集会
29日 「在日外国人無年金障害者及び高齢者の救済を求め意見書」提出請願
30日 臨時議会
1日 田川市立病院経営形態検討委員会
2日 社民党福岡県連合青年部・若政青年部合同会議(福岡市)
3日 社民党福岡県連合青年部・若政青年部合同会議(福岡市)
4日 社民党田川総支部合同会議
5日 社民党福岡県連合常任幹事会(福岡市)
6日 社民党福岡県連合自治体議員団セミナー(福岡市)
7日 市内小学校視察
8日 農業委員会総会
9日 市議会本会議(1日目)
10日 市議会本会議(2日目)
11日 社民党九州ブロック機関紙「地方記者会」(熊本県)
12日 社民党九州ブロック機関紙「地方記者会」(熊本県)
13日 社民党熊本県連合青年女性キャラバン(熊本県)
14日 市議会本会議(3日目)
15日 市議会本会議(4日目)
16日 総務文教委員会
17日 社民党田川総支部合同会議
18日 社民党田川総支部自治体議員団合同会議
19日 山口はるな選対会議
20日 山口はるな選対会議
21日 山口はるな選対会議
22日 山口はるな選対会議
23日 山口はるな選対会議
24日 山口はるな選対会議
25日 山口はるな選対会議
26日 山口はるな選対会議
27日 山口はるな選対会議

7月

4日 田川美術館主催「英展」授賞式
5日 田川地区清掃施設組合連合協議会
6日 田川青年会議所交流会
7日 田川商工会議所青年部総会
8日 田川商工会議所青年部総会
9日 田川商工会議所青年部総会
10日 田川商工会議所青年部総会
11日 田川商工会議所青年部総会
12日 田川商工会議所青年部総会
13日 田川商工会議所青年部総会
14日 田川商工会議所青年部総会
15日 田川商工会議所青年部総会

SASAKI Makoto Profile 佐々木まこと経歴



1981年5月 田川市で出生
1997年3月 田川市立猪位金中学校卒業
2000年3月 福岡県立東鷹高等学校卒業
2004年3月 龍谷大学法学部政治学科卒業
2006年3月 北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)
2006年4月 社会福祉法人猪位金福祉会暖家の丘入社(現)
2007年4月 田川市議会議員当選(25人中7位・1363票)
現在 総務文教委員会副委員長、田川地区清掃施設組合議会監査委員、社民党福岡県連合青少年局長、社会新報地方記者、東鷹同窓会理事

ご支援をよろしく
お願いします!!

衆議院福岡11区
社民党公認予定候補

山口はるな



市民相談・無料法律相談
受け付けています。

市民相談、労働相談など各種相談をいつでも受け付けています。また月1回、弁護士による無料法律相談も行っていますので、お気軽に電話、メールでお問い合わせください。

連絡先 0947-42-1866
mail:makt56@hotmail.com



社会新報

号外 社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1 電話 代表03(3580)1171・振替00140-1-3203
●定価180円 ●1ヶ月700円 ●送料160円